

## 訂正

『いがたの教育情報』119号 P 98  
(執筆者の黒川克己さん・・・)とありま  
すが正しくは(執筆者の黒川勝己さん・・・)  
です。お詫びして訂正いたします。

## 編集後記

▼3つの特集論文により、「18歳選挙権」の  
歴史的な意義や施行に伴う問題点、主権者  
教育の重要性について再確認することが出  
来ました。また、若者達の選挙・政治活動  
への思いにふれて、将来への明るい展望が  
予見されます。

▼東日本大震災及び原発事故から5年がた  
ちました。特集「福島は今」の2つの論文  
は、傷ついた子どもを支援することの重要  
性を指摘し、被災地住民の苦悩とその原因  
を増幅している東電や政府の対応について  
徹しく告発しています。この時期を前後し  
て東電の「メルトダウン規定のマニユアル  
隠し」が明らかになりました。柏崎原発の再  
稼働を許さない取組は、新潟県民の命と暮  
らしに直結する喫緊の課題となっています。  
▼安倍政権の改憲策動が止まりません。一

方、これを許さない運動も起きています。  
戦争法廃止の2000万署名運動、野党に  
よる選挙協力が進められています。戦時体  
制は、多くの人権侵害・無視を拡大させま  
した。その一端が、藤野論文で述べられて  
います。不戦の誓いを新たにして、平和を  
守りたいとの気持ちが高まりました。

▼低所得者に支給する就学援助で、新潟市  
は今年から中学入学時の「新入学生徒学用  
品費」の支給時期を、これまでの8月から、  
入学前の3月に前倒ししました。同制度の  
改善の必要性を訴えていた堀川明子さん達  
の粘り強い運動(『情報』118号で詳報)  
が実ったものです。声を出し、力を合わせ  
て行動する。これが問題解決の大道です。

▼ようやく春らしい陽気になり、桜の開花  
が話題に上ってきました。花びらを浮かべ  
て杯を酌み交わし、摘草料理で舌鼓。大い  
に腕気をやしないたいものです。  
つぎつぎに春の季節を食べにけり  
滋酔郎

(小東)

## いがたの教育情報 No. 120

2016年4月8日発行

編集・発行 いがた県民教育研究所

発行人 小林 昭 三

〒951-8116

新潟市中央区東中通1-86 山崎ビル

電話・FAX (025)228-2924

振替口座・00640-0-12332

Eメール kyoiku@triton.ocn.ne.jp

印刷所・神林印刷

TEL 0254-66-7959